

カスタム設定ファイルを使用した Cisco E メール セキュリティ プラグインのインストール

目次

[はじめに](#)

[カスタム設定ファイルを使用した Cisco E メール セキュリティ プラグインのインストール](#)

[Cisco E メール セキュリティ プラグインをインストールして下さい](#)

[カスタム設定 設定ディレクトリを組み立てて下さい](#)

[CommonComponentsConfig.xml を編集して下さい](#)

[カスタム設定コンフィギュレーション・ ファイルを展開して下さい](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco E メール セキュリティ プラグインをインストールするために、カスタムのコンフィギュレーション ファイルを使用するプロセスについて説明します。

カスタム設定ファイルを使用した Cisco E メール セキュリティ プラグインのインストール

Cisco E メール セキュリティ プラグインをインストールして下さい

1. プラグインの最新バージョンをダウンロードし、インストールして下さい。 ([ダウンロード](#) ファイルは製品 ページから利用できます。)
2. 標準インストールによってプラグインをインストールして下さい。 (詳細の [Cisco E メール セキュリティ プラグインについては管理者ガイドを参照して下さい](#)。)
3. ビジネス クラス メール (BCE) 署名された XML コンフィギュレーション ファイルをロードして下さい。
4. プラグインが暗号化のために予想通りはたらくことを確認して下さい。 (次にこれは CommonComponentsConfiguration XML の復号化/フラグ/暗号化、および追加カスタム設定のための BCE XML にカスタム設定をまた保証していました。)

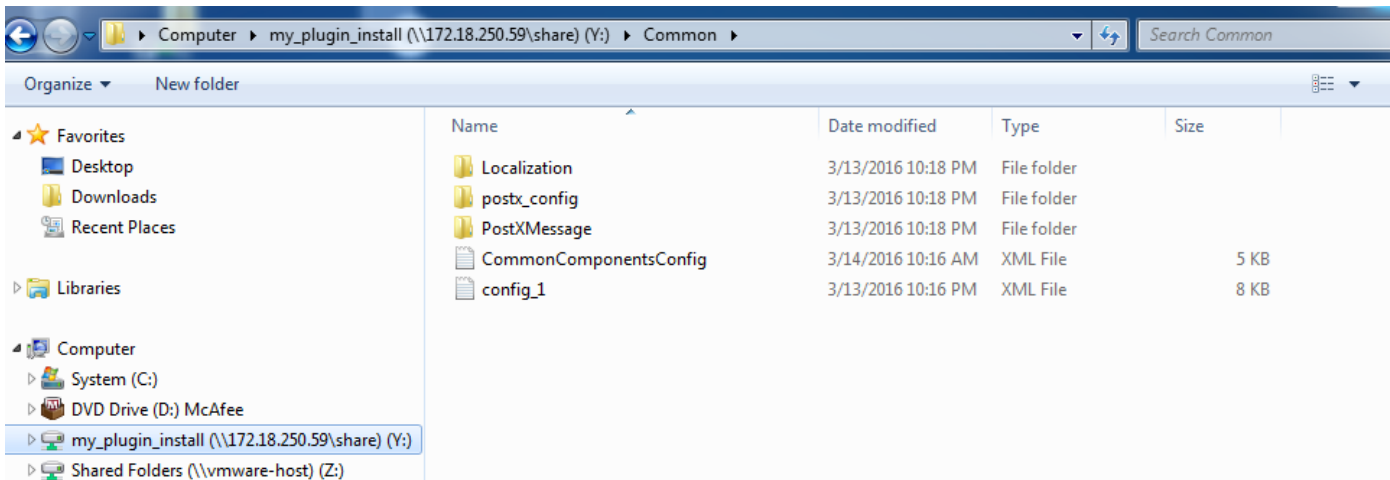
カスタム設定 設定ディレクトリを組み立てて下さい

1. Windows はホストしますまたはネットワークサーバは、カスタム インストール ディレクトリを作成します。 (ネットワーク共有を使用してこの例のために、 :
\\172.18.250.59\share\my_plugin_install)
2. Windows で標準インストール ディレクトリにホストして下さい、ナビゲート して下さい:
C:\ProgramData\Cisco\Cisco IronPort Email Security Plug-In\
3. 標準インストール ディレクトリからカスタム インストール ディレクトリに「よくある」ディレクトリをコピーして下さい。
4. Windows ホストで、標準インストール ディレクトリから、user_idディレクトリを開いて下さい:

C:\ProgramData\Cisco\Cisco IronPort Email Security Plug-In\

5. 「よくある」ディレクトリにカスタム インストール ディレクトリに既存の *config_1.xml* および *CommonComponentsConfig.xml* ファイルを、コピーして下さい。
6. 「よくある」ディレクトリのカスタム インストール ディレクトリから、カスタム インストールのために組み立てられている、*used_configs.bin* および *cachedFolders.xmlfiles* を、もしあれば削除して下さい。

この時点で、カスタム インストール ディレクトリ構造は次に類似したものであるはずです:



CommonComponentsConfig.xml を編集して下さい

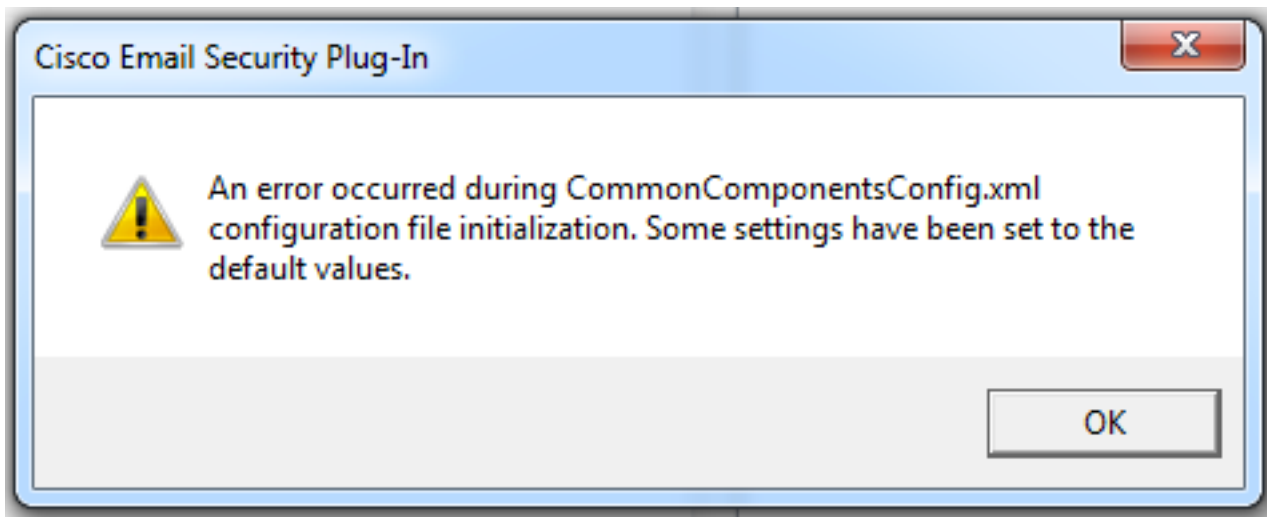
不可知論ユーザであるために CommonComponentsConfig.xml ファイルをに編集しま Outlook プロファイルに設定をロードすることをユーザを許可します。

1. カスタム インストールのために組み立てられているテキストエディタを使用する、「よくある」ディレクトリのカスタム インストール ディレクトリから、CommonComponentsConfig.xml ファイルを修正して下さい。
2. *accountFileNames* タグを見つけて下さい:

```
<accountFileNames>  
<accountFileName filePath="config_1.xml" emailAddressAndKeyServer="user@domain.com  
res.cisco.com" defaultReportAccount="true" defaultEncryptAccount="true" profileName="[Cisco  
Enterprise Exchange]" />  
</accountFileNames>
```
3. *accountFileNames* セクションを編集しま、前existing *emailAddress* および *profileName* エントリを削除します:

```
<accountFileNames>  
<accountFileName filePath="config_1.xml" emailAddressAndKeyServer="*"  
defaultReportAccount="true" defaultEncryptAccount="true" />  
</accountFileNames>
```

注: *accountFileName* 構文がきちんとフォーマットされていること保証して下さい。
accountFileName 設定行が不正確である場合、Outlook はデフォルト値にプラグインを設定し、またために Outlook 追加 ins のための非アクティブとしてプラグインをマークして下さい:



カスタム設定コンフィギュレーション・ファイルを展開して下さい

この技術情報の始めから実行されたプラグインの標準インストールをアンインストールして下さい。これは Windows から標準によってアンインストールすることができます: コントロールパネル > Programs および機能 > Cisco E メール セキュリティ プラグイン、および/変更 『Uninstall』 を選択 すること。プロンプト表示されるようにステップを完了して下さい。

この時点でカスタム設定コンフィギュレーション・ファイルはインストールして準備ができています。Windows CLI から、インストールするために次の構文を実行して下さい:

```
Cisco Email Security Plugin.exe /exenoui /qn UseCustomConfig="\\{SHARED_DIR}\{CONFIG_FOLDER}
ディレクトリと「=」カスタマイズされたコンフィギュレーション ファイルにディレクトリを規定した後。
```

.exe インストールの間に使用される他のスイッチ パラメータ:

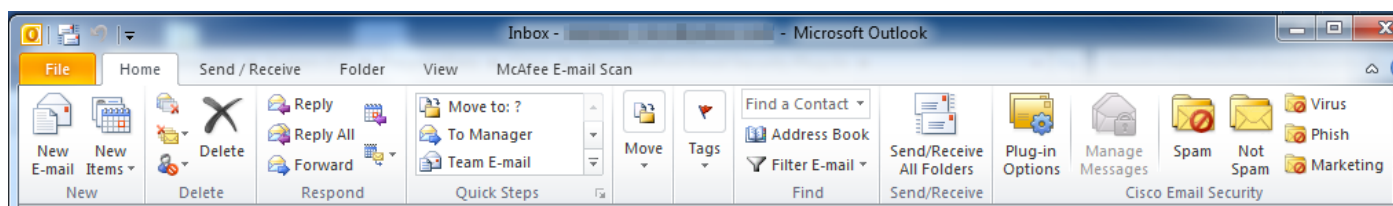
アクセス ポイント グループ 説明

/exenoui	UI なしで設定される EXE を起動させます
/qn	q、qn - UI 無し

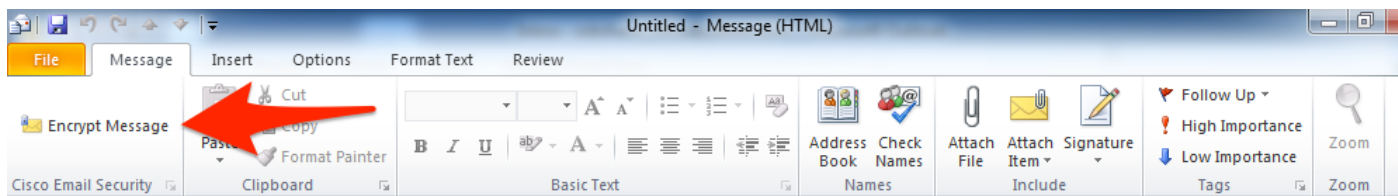
次を使用して、上で組み立てられる例と続きます:

```
C:\>CiscoEmailSecurity-7-5-2-009.exe /exenoui /qn
UseCustomConfig="\\172.18.250.59\share\my_plugin_install"
```

インストールは通常完了するために ~30 秒かかります。、Outlook リボン バーの最終的な製品インストール インストールが Outlook を開いた後類似したに終わったら:



新しい E メールから、Encryption オプションは使える状態で強調表示し、:



Encryption オプションはオリジナル BCE XML 設定に基づいていました設定 されます:

```
<!--  
Plugin related configuration. Valid type edition values are:  
decrypt - Plugin can only decrypt PXE envelopes.  
flag - Plugin can decrypt and flag a message for encryption.  
encrypt - Plugin can decrypt and encrypt a message on the device.  
-->  
<plugin edition="flag">
```

トラブルシューティング

- *UseCustomConfig* は適切なケースにある必要があり、複数ではないです。
UseCustomConfigs は Outlook にはたらかせなかつたりし、設定をきちんと読ませます。
- 「\」のカスタム設定 ファイル ディレクトリを参照するカスタム設定インストール コマンドを終了しないで下さい。
- カスタム設定 ディレクトリおよびファイルはファイル読み書きに許されるべき Outlook を実行しているエンドユーザを許可するためにそのように設定 される権限がなければなりません。 そうでなかったら、これによりまた Outlook は設定をきちんと読みますかもしれエンドユーザは Outlook 始動の間にエラーを示されます。
- 生成されるエラーのより多くの詳細のためのエンドユーザのディレクトリの *CiscoEmailSecurity.log* ファイルを検討し、プラグイン オペレーションに関連付けて下さい:
- C:\ProgramData\Cisco\Cisco IronPort Email Security Plug-In\\CiscoEmailSecurity.log